

2010.11.24「北朝鮮の砲撃事件、たるんでいるぞ菅内閣！」

こんにちは、参議院議員の西田昌司です。

昨日 11 月 23 日の 2 時半頃に韓国の延坪島で北朝鮮から砲撃があり、韓国側からも反撃という軍事衝突が起きました。このニュースには我々も驚きましたが、さらに驚いたことは、菅総理がこの問題の第一報を報道で知ったということです。それが本当なら、危機管理という安全保障上最大の仕事を怠っていることを意味します。しかし、菅総理はそのような認識をお持ちでなく、自らその事実を語ったのだろーと思います。

この問題を自民党の部会でも取り上げ、関係省庁からも事情聴取して参りました。これには更に問題があり、事件発生は 2 時半でしたが、菅総理に伝えられたのは 3 時半頃で、その後関係大臣を集めての会議を行ったのが午後 8 時過ぎだということです。このように 6 時間近く空白の時間があり、安全保障に対する認識と当事者意識が、この内閣には欠如しているので、このような国家の安全保障に直結する事件が起ければ、当然 30 分以内に関係大臣は官邸に集まる必要があります。少なくとも、我々自民党が政権与党にいるときはそう認識しておりました。それが全く機能していないということですから、安全保障の面からも民主党菅政権は直ちに退陣をして貰わなければ困ります。

今週は、このような大きな事件も起きておりますが、もう一つの大きな問題は予算採決です。自民党が一貫して与党民主党側に訴えているのは、4 つの条

件をクリアして欲しいということです。その内の2つの条件は解決の方向に向かっています。一つ目は柳田法務大臣を罷免させることです。二つ目は尖閣問題において、少なくとも流出したビデオを国会に提出すること、どのような資料があるかを示すことです。そして、まだ解決に向かっていない2つの条件の内の1つ目は、防衛大臣による事務次官通達です。これは入間基地の自衛隊の祭典で起きた話です。航友会という協力団体の会長が、民主党政権はとんでもない失態を演じ続けているからこのまま放置してはならないし、政権を倒してでもしっかりと貰わないと困るという主旨の発言をされたのです。これは今の世論調査を見ましても国民の率直な感想だと思うのです。しかし、それを聞きつけた北沢大臣達が、政府を転覆させよという政治活動に自衛隊に促したり、防衛省や自衛隊員が政治活動に関与したりしているという誤解を持たれるのを防ぐため、発言内容を事前にチェックすべしという主旨の通達を出したのです。これは明らかに憲法に保障されている表現の自由、思想信条の自由を、自衛隊員ではなく民間人にまで強要する話ですから、到底我々は納得することが出来ません。直ちに撤回を要求しております。そして、もう一つの問題は、小沢さんの政治とカネの問題です。菅総理自らが責任を持ってやると言っているのだから、国会が終わるまでに一定の方針を示してほしいと思います。これは国民皆が思っていることではないでしょうか。これが出来ない限り我々は採決に応じることが出来ません。単に審議拒否をしているわけではなく、自ら約束

した問題、そして自らが招いた憲法違反に関わる問題について、しっかりと彼らの手で責任を持って解決して貰わなければ困るという当たり前のことを訴えているのです。

今は国内外で非常に大きな問題が山積しておりますが、民主党にこれらの問題を解決する決意も覚悟も能力もないことは明かであります。一日も早く政権を取り戻すことが出来るように全力で取り組んでいきたいと思えます。皆さん方の今後の御支援をお願い申し上げます。ありがとうございました。